

# 「生活都市」から健幸な「まち」へ

## ともに支え合う「共生のまち やわた」

平成27年国連サミットで「持続可能な開発目標（SDGs）」が採択され、国においても「多様性と包摂性のある社会」の実現に向けた取組が進められています。高齢者や障がいのある方など様々な人の暮らしを守るよう、今一度、市民自治の原点に立ち返り、「みんなで創る」まちづくりを進めていく必要があります。



- 外国語自動翻訳機設置（新規） 23万円
- コミュニティ事業推進（継続） 3,267万円
- 男山地域再生事業（継続） 510万円
- 市民協働活動センター運営（継続） 240万円
- 市民協働活動事業助成（継続） 110万円
- やわた男女共同参画一歩フェスティバル開催（継続） 42万円
- 男女共同参画プラン改訂（新規） 412万円
- 絆ネット構築支援（継続） 365万円
- 「わたしたちの談話」プロジェクト（継続） 5万円
- 生活困窮者自立支援事業（就労準備支援）（継続） 163万円
- 手話奉仕員養成研修事業（継続） 233万円
- 地域生活支援拠点事業（充実） 1,770万円
- ふれあい訪問収集（継続） 120万円

## 誰もが「健康」で「幸せ」な「健幸のまち やわた」



- 介護保険事業計画等策定（新規） 850万円
- 自殺対策計画策定（新規） 5万円
- やわた未来いきいき健幸プロジェクト（新規） 3,290万円
- 健康フェスタ開催（継続） 128万円
- 健幸マルシェ開催（継続） 45万円
- ウォーキング推進（継続） 26万円
- SWC推進（健康教室・セミナー開催）（新規） 15万円
- やわたヘルスプロモーション推進（「健幸アンバサダー」養成）（継続） 90万円
- 健康コミュニティ推進事業（生活総合機能改善）（新規） 92万円
- 風しん予防接種助成（追加対策）（新規） 200万円
- 再度予防接種助成（新規） 30万円

生涯にわたって動き、体を動かし、いきいきと生活することを通じて、「健康」で「幸せ」な人生を送ることは、地域全体の活力にもつながります。人口減少・超高齢社会が招く様々な課題に立ち向かうため、昨年3月に策定しました「やわたスマートウェルネスシティ計画」に基づき、市民の皆様とともに「人」と「まち」の健幸づくりに取り組んでまいります。

## 持続可能な「安心・安全のまち やわた」



- 庁舎整備事業（継続） 2億8,710万円
- 地籍調査事業（継続） 722万円
- 街路灯LED化（継続） 2,650万円
- 交通安全施設整備（「ゾーン30」の設定）（継続） 200万円
- 避難所運営マニュアル配布（新規） 11万円
- 子ども防災デイキャンプ（新規） 2万円
- 災害時使用井戸水水質調査実施（新規） 6万円
- ブロック塀対策補助（充実）150万円
- 避難訓練コンサート（新規）10万円
- 政策研究型職員提案事業（新規） 50万円

平成30年は、自然の持つ力の大きさと、それに対する人間の無力さを実感させられました。しかしながら、自然災害の脅威から市民の皆さまの生命と財産を守ることは市の使命でもあります。災害への対応に万全はありませんが、平成30年に発生した災害の復旧支援を進めるとともに、さらなる対策を講じていかなければなりません。

## しなやかに「活力のまち やわた」

商工業の振興につきましては、商工会と連携しながら、中小企業の経営支援や販路開拓に向けた支援の充実を図るとともに、民間における「働き方改革」の促進に向け、啓発パンフレット作成や企業向け説明会に取り組むこととしております。農業の振興につきましては、「国連家族農業の10年」を機として八幡農業のPRに取り組むとともに、特定



- 地域公共交通会議設置（新規）25万円
- 働き方改革啓発（新規） 100万円
- 地産地消推進（給食地元産米・味噌利用促進）（継続） 220万円
- さくらであい館農産物直売所運営助成（継続） 100万円
- 農業祭開催（新規） 200万円
- 川口川第3橋門改修（新規）709万円
- 川口揚水機場改修（継続） 2,680万円
- 川北排水機場監視カメラ設備更新（新規） 482万円
- 中小企業知恵のステップアップ事業（継続） 100万円
- 展示会出展支援事業（新規） 25万円
- 「まちゼミ」事業（継続） 65万円
- 八幡で買おう応援事業（継続） 180万円
- 創業融資等中小企業金融対策（継続） 422万円
- 橋本駅周辺拠点整備（駅前広場整備）（継続） 1億円
- 二階堂川口線バイパス整備（継続） 5,140万円
- 野神線道路整備（継続） 600万円
- 府道八幡田辺線整備（継続） 590万円
- 立地適正化計画策定（新規） 600万円

## 子どもが輝く「未来のまち やわた」



- 児童発達支援センター施設整備（新規） 3,475万円
- 子ども・子育て支援事業計画策定（継続） 452万円
- 発達障害児等早期療育支援（継続） 153万円
- 民間保育所・認定こども園障がい児保育事業費助成（充実） 4,183万円
- 母子家庭等高等学校卒業程度認定試験合格支援（継続） 15万円
- 子育てサークル助成（継続） 9万円
- 乳幼児発達クリニック（継続） 22万円
- 産前・産後ヘルパー派遣（継続） 25万円
- 産後ケア事業（新規） 65万円
- 10か月児育児健康相談（継続）60万円
- 子ども国際交流事業（新規） 550万円
- スタディサポート（鳩瀬教室）事業（継続） 3,477万円
- 学校施設等長寿命化計画策定（新規） 1,300万円
- さくら小学校グラウンド整備（新規） 50万円
- 中央小学校エレベーター等整備（新規） 410万円
- 男山中学校グラウンド整備（新規） 50万円
- 中学校無線LAN環境整備（新規） 1,800万円

全国的に少子化や核家族化が進み、子育て世代のライフスタイルの変化や地域関係の希薄化が進む中、身近に子育てを助けてくれる人や相談できる人が少なくなり、育児への不安や負担を感じる方もおられます。1人でも多くの方が安心して前向きに子育てができるよう、「第2期子ども・子育て支援事業計画」の策定を進めながら、産前・産後ケアをはじめ、地域における妊娠・出産から子育てまでの切れ目のない支援の充実に取り組んでまいります。

## 自然と歴史と文化が「観幸のまち やわた」

平成29年度に創設いたしました「徒然草エッセイ大賞」に継続して取り組みましたところ、平成30年度も2,000作品を超える多数の応募をいただきました。平成31年度も引き続き八幡市の魅力発信とシビックプライドの醸成に努めてまいります。2020年東京オリンピック・パラリンピックを目前にし、本格的なインバウンドへの



- 「Chazz in YAWATA」開催（継続） 400万円
- 八幡産てん茶普及啓発（継続） 350万円
- お茶の京都普及啓発（DMO分担金）（継続） 700万円
- 一坪茶室イベント事業（継続） 50万円
- 茶業振興対策（宇治茶広域宣伝・浜茶景観維持等）（継続） 30万円
- 森林・山村多面的機能発揮対策事業費助成（新規） 14万円
- 観光基本計画推進官民協議会開催・運営（新規） 140万円
- 八幡STORYインバウンド対応パンフレット（新規） 125万円
- インバウンド対応観光案内板作成（新規） 88万円
- 台湾プロモーション実施（新規） 150万円
- 徒然草文学賞表彰（継続） 1,000万円
- 八角堂期間限定公開（新規） 240万円
- 名勝松花堂及び書院庭園保存活用計画策定・整備（継続） 2,000万円

平成30年の漢字は「災」でした。八幡市でも、大阪府北部地震をはじめ、台風等の自然災害に見舞われた年となりました。他方、本市の10年間のまちづくりの指針となります「第5次八幡市総合計画」がスタートを切った年でもありました。これまでの総合計

## 「一歩前へ」の姿勢で邁進

八幡市長 堀口文昭

画では、将来都市像を「生活都市」としておりましたが、第5次総合計画においては「まち」と表現いたしました。これは、従来の「住宅都市」といわゆるベッドタウンとしてのイメージから、様々な機能を有した「まち」づくりを進めてまいりたいという思いを含めたものでござい

税の減収が見込まれる一方で、将来に向けた投資や社会保障経費の増加などへの対応に迫られています。「人口減少社会」は、マイナスのイメージで捉えられがちですが、「量」から「質」への転換」として施策を展開していくことが大切ではないかと考えております。このように、平成30年度の歳入歳出のバランスを踏まえ、国の補正予算も活用した「13カ月予算」を編成いたしました。

